

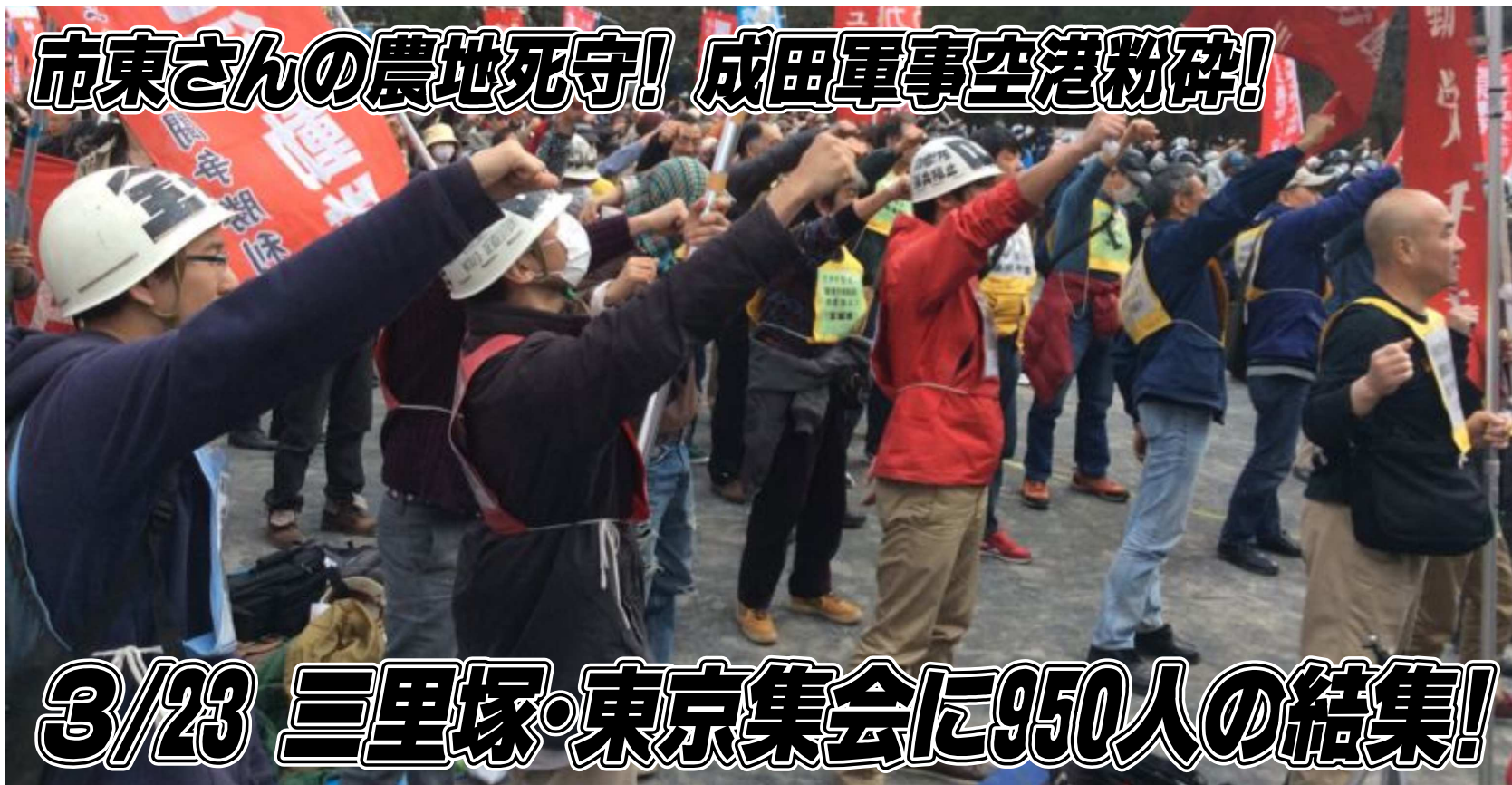
4・25法大闘争へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2014年3月24日
No.178

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

市東さんの農地死守！ 成田軍事空港粉碎！



3/23 三里塚・東京集会に950人の結集！

◆斎藤委員長の決意表明

闘う仲間みなさん、結集お疲れさまです！
本日は、霞ヶ関に攻め上る勢いのあるデモを
ともにうち抜いていきましょう！

私は、三里塚闘争の歴史は、ついに農民・労働者を切り捨ててきたこの日本の国家権力を敗北させるところまで来たと思います。ボロボロになり、世界中の資本家仲間からも見捨てられた成田空港の姿を見てください。巨額のカネをかけ、無意味かつ危険な滑走路をつくって何かをした気になっているくだらなさ！ 一方、三



里塚闘争がどれほど全世界の人々に輝いているか！ まさに今、東アジア情勢を揺り動かす大ゼネストをうち抜いた韓国・民主労総や、ヨーロッパ反原発運動の中心・ゴアレーベンからの連帯は三里塚闘争の人間としての正義を証明しています。

命を守ることは「条件闘争」じゃない！ 3・11福島原発事故以降、もう一度私たちが見つめなければいけない闘いの真実を徹底的に貫徹してきた三里塚闘争、市東さんの農地を死守する闘いにあらためて全学連は敬意を表し、強い連帯をもって応えていきたいと思います。

ウクライナ・クリミアをめぐる情勢に象徴さ

「大学改革」粉碎！ 大学の主人公は学生だ！

4・25法大解放総決起集会

4月25日（金）12:40～ 法政大学市ヶ谷キャンパス集合
13:30～ 法大包围デモに出発

呼びかけ：4・25集会実行委員会

（法政大学文化連盟 <http://08bunren.blog25.fc2.com/> bunren08@yahoo.co.jp）



れるように、大国が小国にかけろのではなく、大国同士が経済制裁をかけあうという決定的な局面、世界戦争の時代に世界史は突入しようとしています。

しかし、みなさん見てください。3年目の福島、3月1日の1100名の反原発福島行動を。「フクシマの怒り」は全世界に拡大し、ドイツ・ゴアレーベン、韓国・民主労総、アメリカ・運輸労働者連帯委員会からの参加が今年かちとられました。静かな怒りはあきらめをのりこえ、大きな可能性を切り開きました。

動労水戸や国労郡山工場、ふくしま共同診療所の闘いを先頭とした、現実に向き合い、団結して政府・原子力ムラの分断と圧殺を日常の生活と労働の現場からはね返した勝利です。戦争をとめる国際連帯は日々準備されつつあるのです！

私たち全学連は、法大闘争で暴処法弾圧に対し2月に「完全無罪」をかちとりました！完全黙秘・非転向の原則を守り、仲間を信じて闘った勝利です。このことを記事にした『週刊金曜日』のジャーナリストの取材に応じて、法大当局は「自分たちは被害者で(被告に)謝罪する立場にない」と答えています。

法大当局自身が、広報や学生処分の理由づけに積極的

にこの暴処法弾圧の事実を使ってきたにもかかわらず、負けたとたんすべて警視庁公安部の無能のせいになっている。カネで動く人間たちのくだらない姿！お互いに切り捨てあう彼らに未来はありません。

全学連はこの勝利をテコに武田君への不当処分撤回、法大自治会建設へ向かいます。沖縄大学・福島大学・富山大学での学生自治会の復権もやり抜いていく決意です。4・25法大集会ー5月沖縄闘争に全力結集を訴えます。大学を、労働を、農業を、団結して1%の資本家階級から取り戻しましょう。ともに闘いましょう！



3・11福島行動の感想(沖縄大生から)

3・11反原発福島行動の現地行動隊として3月2日から福島に入り、当日まで集会の宣伝や準備を手伝いました。

3年目の福島は、去年にもまして怒りがますます大きくなっているのを感じました。ビラを撒いていても、去年よりもビラの受け取りが良く、特に若い人の受け取りがかなり良くなっているのを感じます。

増え続ける子どもの甲状腺がん、収束などしていない原発事故、3年目で限界のきている仮設住宅での生活、そんな中で安倍首相が大ウソをついて呼び込んだオリンピックに怒りが燃え上がっています。「このまま黙っていたら終わったことにされてしまう」という危機感と怒りが、若者の決起を生んでいるのを感じました。

激しい放射能安全キャンペーンや復興キャンペーンの下で、福島は静かで怒りが無いように見えますが、私たちが「原発反対、オリンピック反対」で街中に登場すると、喜んでビラを受け取ってくれます。

東京都知事選において様々な勢力がオリンピックに屈服

し賛成していく中、鈴木達夫候補と共に原発反対、被曝反対、オリンピック反対で闘い抜いた私たちこそが、福島の怒りと結びつくことができると確信しました。

街頭でのビラ撒きだけでなく、郡山市内の仮設住宅へのビラ入れや労組周り、街宣カーで3・11集会を呼びかけたりもしました。

当日の3・11反原発福島行動は1100人以上の参加で大成功しました。郡工の橋本光一さんや福島の学生、農民の発言があり、集会で福島の怒りを共有し、会場は怒りに燃え上がりました。集会後のデモは、普段声を上げられないようにされてきた郡山の街で革命を起こすような怒りのデモ行進になりました。

私は福島の労働者、学生、農民の悔しさや怒りを背負ったつもりで拳を突き上げ、全力でかんしょ踊りを踊ってデモ隊をひっぱりました。デモ隊に驚きながらも、多くの人が手を振り応援してくれました。福島から安倍に怒りの声を叩き付け、2014年の闘いを切り開く3・11になったと思います。福島でつかんだ確信を胸に、沖大自治会建設にむけて頑張っていく決意です。

【当面する行動方針】

○5・17～19沖縄現地闘争

辺野古新基地建設阻止！「改憲・戦争」の安倍政権打倒！ 学生自治会を甦らせよう！

○6・13法大処分撤回第6回裁判

6月13日(金) 16時～ 東京地裁・615号法廷にて ※30分前までに裁判所脇に集まって下さい

